

第9期 北海道総合開発計画

共に北海道の未来を創る

食料安全保障を支える

観光立国を先導

アイヌ文化の振興

ゼロカーボン北海道を実現

北方領土隣接地域の安定振興

生産空間の定住環境維持

日本が持続的な発展のために
豊かな北海道を!

北海道総合開発計画は、北海道の資源や特徴を活かして国の課題解決に寄与することを目指し、地域の活力ある発展を図ることを目的に策定された計画です。

本計画は2014年に策定された第1期計画の次のステップです。北海道に対する思いが、幅を利かす形で北海道の発展を促す、新たなスタートを切りました。

国土交通省

直近の数年の間に、世界・日本は過去に経験したことのない危機と変化に直面した。一つはロシアのウクライナ侵略を契機として食料安全保障等の問題が顕在化したこと、一つは新型コロナウイルス感染症が世界中の人の流れを止めて観光立国日本も揺らいだこと、一つは2050年のカーボンニュートラル実現が世界の潮流となったこと。

我が国がこれらを乗り越えるためには、高い食料供給力、魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーがおのずから必要となる。そして、北海道のポテンシャルなくしてそれらは決して乗り越えられない。

北海道の特筆した価値を生む地域を、計画ではその「生み出す力」に着目して「生産空間」と定義付けている。その「生み出す力」は、生産空間におけるリアルな人の営みによって維持されており、定住環境を如何に維持していくかが、北海道の価値発揮に対する最も重要な基礎となる。

「他に代替できない北海道の価値」は、人がリアルにそこに住むこと・そこに行くことから生まれる。全国に10年先んじて進む人口減少や広域分散型社会の課題を乗り越え、北海道の価値を最大化するために2050年という近未来を見据えて多様な主体と『共に北海道の未来を創る』こと。それが、多くの関係者と共に創った第9期北海道総合開発計画の中心的メッセージである。

共に北海道の未来を創る 第9期北海道総合開発計画

国土交通省 北海道局・北海道開発局



計画の進め方

共に北海道の未来を創る
第9期北海道総合開発計画

- リアルとデジタルのハイブリッドによる北海道型地域構造の保持・形成
- 計画の実効性を高めるための方策

官民の垣根を越えた「共創」

共創の取組イメージ

社会変革の鍵となるDX・GXの推進

フロンティア精神の再発揮

戦略的・計画的な社会資本整備

共に北海道の
未来を創る



国や地方公共団体、住民、NPO、企業、教育機関等と連携・協働し、地域の課題解決や価値向上に向けた「共創」の取組を推進します。

食

観光

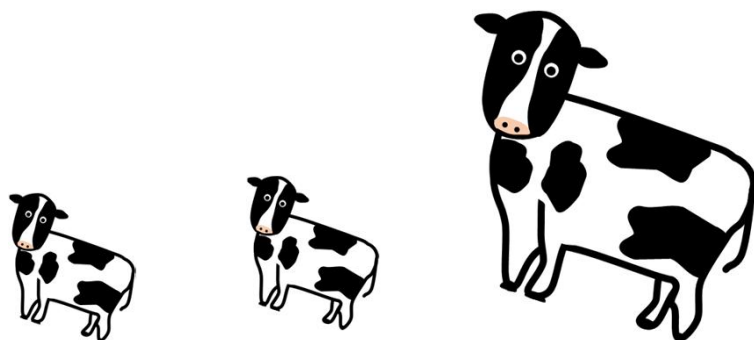
脱炭素化

自然共生社会

地域公共交通

デジタル

など



SoyaLabo10（通称：ラボテン）とは、第9期北海道総合開発計画及び北海道総合計画の推進のため、**稚内開発建設部**と**宗谷総合振興局**が主体となり、以下の3つの取組を中心として、**継続的に**地域課題の解決に取り組むための官民連携の**プラットフォーム**です。

民

SoyaLabo10ミーティング

☆テーマの共有☆

☆情報の共有☆

官

宗谷地域づくり連携会議

※平成20年から継続する既存の会議

◆民間事業者等による意見交換

※テーマに応じてラボテンメンバー(注)を選定

◆管内10市町村の首長等による意見交換

管内10市町村
への情報共有

【ラボテンの目的】

- 宗谷地域が一丸となって取り組む機運の醸成
- 行政機関と民間事業者の連携強化（気軽に相談）
- 行政機関・民間事業者同士の連携
- 継続的な取組を担保
- 行政機関による情報の共有
- 地域課題の発掘

地域の課題解決に向けた具体的な取組
（共創）の実現へ

広報

SoyaLabo10シンポジウム

◆地域課題への取組状況、成果等についてプロセスも含めて発信

SoyaLabo10ミーティングと宗谷地域づくり連携会議の意見を踏まえ、第9期北海道総合開発計画及び北海道総合計画の理解と浸透等を目的とした広報活動

※宗谷管内を持ち回りで毎年開催予定



■ 管内10市町村長等との取組

◆宗谷地域づくり連携会議

第1回「若者を呼び込むための魅力のある宗谷の地域づくり（R7.7.7）」

- ・高校生アンケート結果を基に「若者の雇用就業につながる取組」に対する管内10市町村長の意見（背景・効果、方針）



第2回「宗谷管内の人材育成・確保対策総合パッケージ（R8.3.25）」

（宗谷総合振興局・稚内公共職業安定所・稚内開発建設部）

- ・求人と求職のマッチング支援と人材育成
- ・将来的な地元就職やUターンに向けた仕事への理解促進
- ・移住者など管外からの人材誘致と地元仕事の魅力向上



「宗谷管内の人材育成・確保対策総合パッケージ」

高校生アンケート結果や第1回地域づくり連携会議の管内10市町村長の意見交換をふまえて第2回地域連携づくり会議で総合パッケージを策定

■ 令和8年度の主な取組予定

「ラボテンによる高校生の探究学習の継続支援」

「ラボテンの取組を通じた地域課題・ニーズに基づく共創型取組の発掘」

※若者等のニーズと地域課題解決の取組（民間団体・総合パッケージ等）との結びつきの強化

▶宗谷地域づくり連携会議（令和8年7月1日）

前年度ラボテンミーティングの意見を参考に、魅力ある宗谷の地域づくりのため管内10市町村の首長等による意見交換

※令和8年度テーマ「新規産業の創出などによる魅力のある宗谷の地域づくり」

▶SoyaLabo10ミーティング（令和8年10月予定）

宗谷地域づくり連携会議・高校生アンケートを踏まえたラボテンメンバーによる意見交換

▶SoyaLabo10シンポジウム（令和8年11月7日）

- ・探究学習の成果発表（「高校生たいむ」）
- ・ラボテンの取組報告・共創事例の広報・ラボテンメンバーによるパネルディスカッション

〔タイトル〕

高校生と共に宗谷地域の未来を創ろう in Horonobe (案)

〔テーマ〕

～若者を呼び込むための魅力ある宗谷の地域づくり～

目的

01 「SoyaLabo10の取組報告」

共創取組事例等を共有し、参加者の共創に対する理解と関心を高め、さらなる共創取組の創出を促進

02 「高校生たいむ（探究学習の成果発表）」

管内の高校生が地域の魅力への理解と愛着を深め、将来の生活設計を具体的に意識できる機会の創出等

「パネルディスカッション（高校生参加型）」

- 03 地域課題をみんなで共有し、多様な視点から新たな発想を生み出すとともに、将来のビジョンを共有し
具体的な行動に繋げるきっかけを創出

魅力ある宗谷の地域づくりの実現に向け、宗谷地域に居住する人々が世代を超えて議論を深め、その成果を具体的な行動へとつなげる契機となるシンポジウムとすることが目的

開催

主催：稚内開建、宗谷総合振興局

日時

令和8年11月7日（土）
（13:00～16:00予定）

対象

宗谷管内全8校のうち、希望する高校
地域住民、関係市町村、関係団体等
会場とWebのハイブリット開催

会場

幌延町「問寒別生涯学習センター」
天塩郡幌延町字問寒別135番地の4
多目的ホール：定員210名

